

平成 22 年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・後期・選択
	対象学科・専攻	土木工学専攻
都市計画特論 (Advanced City Planning)	担当教員	内田 一平 (Uchida, Ippei)
	教員室	土木工学科棟2階 (Tel. 42-9117)
	E-Mail	uchida@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位数	講義 / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業(100分) + 自学自習(200分)〕 × 15回	
〔本科目の目標〕 現代・日本における都市計画の基本課題のいくつかについて「理論」と「実態」との関係をフィードバックし諸外国と比較しつつ考察を深めることを目的とする。特に都市計画の「対象領域」と「計画行為」に関する認識に重点をおく。		
〔本科目の位置付け〕 本科4年生開講の都市計画の知識をもとに都市問題と都市計画マスタープランおよび都市総合計画に主眼を置いて、より詳細な内容に関して講義を行うのが本科目である。また、本科目の内容を基礎として、専攻科2年次前期の都市計画演習において「都市計画マスタープラン策定」演習につながる。		
〔学習上の留意点〕 授業時配布プリントは、その日の理解すべき主な内容の要約を示す。テレビや新聞などの具体的な記事を授業中に紹介するが、皆さんも日々上記メディアを通じて情報を入手しておくこと。また、講義内容をよく理解するために、毎回、予習や演習問題等の課題を含む復習として、200分以上の自学自習が必要である。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1.序論(イントロダクション)	1	講義目標と予定内容および講義要領を理解する。
2.都市問題	1	過去に起こった都市問題を把握し、それに対して都市計画が対応した状況を認識する。
3.住宅問題のメカニズム	4	住宅・住環境に関する都市問題を理解し、説明ができる 上記問題に対する都市計画関連の対応状況を理解し、問題解決の素養を養う。
4.交通問題のメカニズム	4	交通渋滞などの交通問題を理解し、説明ができる。 上記問題に対する都市計画関連の対応状況を理解し、問題解決の素養を養う。
5.公害・災害のメカニズム	4	公害・災害・自然環境破壊の問題を理解し、説明ができる。 上記問題に対する都市計画関連の対応状況を理解し、問題解決の素養を養う。
6.実在都市における問題の観察	4	人口50万人を有する地方都市 鹿児島市を散策し、実際に起きている都市問題を認識する。
7.都市計画体系	2	都市計画法関連の法制度の関連性を理解する。 法定都市計画・都市計画マスタープラン・都市総合計画の関係を理解し、説明できる。
8.計画構造とプロセス	4	計画行為構造と計画プロセスを理解し、概略を説明できる。 計画プロセスにおける計画書行為の特性と限界性を理解し、説明できる。 計画における意志決定プロセスを理解する。 住民参加の必要性を理解し、計画策定までの住民参加状況を説明できる。
9.都市計画マスタープラン	4	都市計画マスタープランの目的・機能を理解し、説明できる。 計画書の主要構成を理解し、次年度演習課題達成の素養を養う。
---定期試験---	2	授業項目2~6, 7~9について達成度を確認する。
試験答案の返却・解説		試験において間違った部分を理解できる。
〔教科書〕都市計画教科書, 中出文平 + 都市計画教育研究会, 彰国社		
〔参考書・補助教材〕授業時配布プリント(講義内容の要旨・ファイルを用意すること)		
〔成績評価の基準〕定期試験成績(60%) + レポートの成績(40%) - 授業態度(20%)		
〔専攻科課程の学習教育目標との関連〕3-3		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕3-3		
〔JABEEとの関連〕(d)(1)		